

今月の特集関連本



《ジェネラリスト BOOKS 》

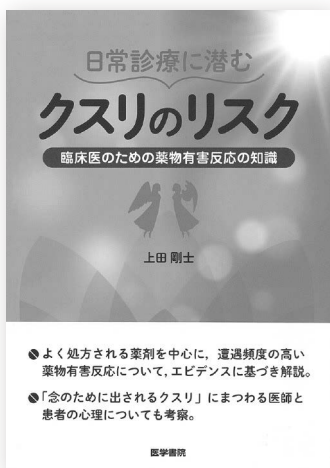
薬の上手な出し方&やめ方

矢吹 拓=編

定価 4,400 円/A5 判・322 頁/医学書院/2020

本特集のご執筆者の 1 人、矢吹拓先生 (p.1213) の好評書！

なんとなく出し続けていたこの薬、他科でもらっているあの薬、必要？ やめる？ 続ける？ 薬を入口に、総合医と薬剤師であれこれ話し合ってみた。「やめる根拠」と「続ける根拠」、「上手な処方」や「減薬」のヒント、そして薬の話にとどまらず「診療のコツ」が、そこそこに。専門医による「上手な処方指南」もあり。答えは 1 つではない。正しい答えがあるとも限らない。けれど、考え続ける先に道はある。



日常診療に潜むクスリのリスク

臨床医のための薬物有害反応の知識

上田 剛士=著

定価 3,080 円/A5 判・164 頁/医学書院/2017

市販されている薬剤は実にたくさんあるが、一般臨床医がよく遭遇する薬剤と薬物有害反応の組み合わせには決まりがある。本書では、頻度の高い薬物有害反応を取り上げ、特によく処方される薬剤を中心にエビデンスに基づいてわかりやすく解説。また、薬物有害反応を頭では理解していても、医師や患者が「念のためのクスリ」を求めることは稀ではないことから、薬物有害反応が減らない理由を心理学的な観点からも取り上げた。